

教育部及びプロスポーツ指導者連絡協議会 事業報告

プロスポーツ指導者連絡協議会
幹事 馬 渕 雄 一

教育部長／資格委員長 中 島 英 臣
教育部副部長／技術委員長 児 玉 栄 一
研修委員長 江 畑 昌 英
障害者スキー委員長 穴 田 慎 一
委員／ 河 西 豊 光
委員／ 種目別担当 スキー（デモコーチ） 松 居 文 智
アルペン競技（デモコーチ） 富 井 正 一
スノーボード（デモコーチ） 出 口 超
テレマークスキー 佐 藤 一 臣
" 江 川 信 以
インラインスケート 井 上 裕 明
バックカントリー 畠 山 浩 一
外部招聘委員 清 水 史 郎
" 長 谷 川 健 二

第30期デモンストレーター

<アルペンスキー>

前田祐美子、栗山明子、佐藤まなみ、高橋万里、佐々木常念、古谷正臣、久慈 修、円浄 岳、伊藤幸治、児玉伊佐央、藤本剛士、高本 稔、井村正章、安藤 顕、小林和幸、宮崎 哲、田中俊行、佐伯 敏、谷藤昌司

<スノーボード>

小池穂高、永田結子、藤井耕司

第31期デモンストレーター

<アルペンスキー>

前田祐美子、福田 咲、川辺貴子、田中 望、佐々木常念、山本 治、古谷正臣、小林和幸、伊藤幸治、的場達也、高橋大地、藤本剛士、児玉伊佐央、田中俊行、高本 稔、中條健一、井村正章、久慈 修、安藤 顕 ※栗山明子デモ辞退のため、田中 望が認定。

<スノーボード>

永田結子、藤井耕司、菅野貴広

資格委員会

1. アルペンスキー教師検定会

(1)「ステージⅠ検定会」7支部と4月志賀高原スキー場でのS I Aフェスティバルで実施。

<担当イグザミネーター>

- | | |
|----------------------------|---------------------------------------|
| ① 北海道支部：古谷正臣、若森久明 | ② 南東北支部：伊藤幸治、梁取克昌 |
| ③ 関東中信越支部：児玉伊佐央、山之内 弘、浅川土星 | ④ 志賀高原支部：山寄昭彦、佐々木常念 |
| ⑤ 長野北信支部：佐伯 敏、小林和幸 | ⑥ 長野中信支部：高橋信昭、井村正章 |
| ⑦ 西日本支部：大江良樹、廣村憲郎 | ⑧ SIAフェスティバル：松居文智、久慈直子、井村正章、古谷正臣、穴田慎一 |

<実施状況>

実施支部(会場)	日程	参加人数	合格者数	合格率
北海道支部(小樽天狗山)	3/ 8～10	9名(再2)	10名	90.9%
南東北支部(山形蔵王)	3/ 8～10	11名(再2)	12名	92.3%
関東中信越支部(石打丸山)	3/ 8～10	15名(再0)	14名	93.3%
志賀高原支部(志賀高原)	2/22～24	8名(再3)	11名	100.0%
長野北信支部(菅平高原)	3/ 8～10	9名(再0)	6名	66.7%
長野中信支部(白馬みねかた)	3/ 8～10	7名(再0)	6名	85.7%
西日本支部(スキー場勝山)	3/ 8～10	8名(再0)	8名	100.0%
フェスティバル(志賀高原)	4/10～12	17名(再1)	14名	77.8%
合 計		84名(再8)	81名	88.0%

検定科目：<基礎理論>スノースポーツの変遷、スキー技術論、スキー指導者論、作文
<実 技>ブルークボーゲン、シュテムターン、パラレルターン、ウェーデルン、指導実習

(2)「ステージⅡ 基礎理論」

日 時：平成21年10月20日（火）～23日（金）

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者：19名（内4名再受験）

役 員：井上裕明、山口 圭

検定科目：スキーのための外国語、世界のスキー組織、アルペン競技の特性とルール、スキー産業の現況について、スキー技術論・技術の変遷、スキー技術指導法、スキーの力学、スキーのためのトレーニング論、スキー安全対策論、スキーの救急法、スキーの山岳と気象

(3)「ステージⅢ 基礎理論」

日 時：平成21年10月20日（火）～23日（金）

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者：12名（内3名再受験）

役 員：井上裕明、山口 圭

検定科目：スキーのための外国語、スキー用具の変遷と歴史、スキー技術論・スキー技術指導法、スキーの力学、スキーツアー・スキーの山岳と気象、スキーのためのトレーニング論、スキー安全対策論、スキーの救急法、スキー指導者論、障害者とスノースポーツ、施設・経営論

(4)「ステージⅡ 実技・指導実習検定会」

①日 時：平成22年 3月 8日（月）～11日（木）

会 場：小樽天狗山スキー場

参加者： 4名（再 1名） 合格者： 3名（合格率：60.0%）

イグザミネー：前田祐美子、古谷正臣、若森久明

②日 時：平成22年 3月 8日（月）～11日（木）

会 場：山形蔵王スキー場

参加者：15名（再 3名） 合格者： 6名（合格率：33.3%）

イグザミネー：横尾恵里、柴崎正弘、田中俊行

③日 時：平成22年 4月10日（土）～13日（火）

会 場：志賀高原スキー場

参加者：15名（再19名） 合格者：23名（合格率：67.6%）

イグザミネー：久慈 修、前田祐美子、藤本剛士/検定のみ担当：久慈直子、富井正一、松居文智

検定科目：シュテム、パラレル、急斜面ウエーデルン、総合滑降、GSL、ゲレンデシュブリング、指導実習

(5)「ステージⅢ 実技・指導実習検定会」

日 時：平成22年 4月10日（土）～13日（火）

会 場：志賀高原スキー場

参加者：13名（再 2名） 合格者： 9名（合格率：60.0%）

イグザミネー：佐々木常念、古谷正臣、中島英臣/スノーボード担当：出口 超、藤井耕司/テレマーク担当：佐藤一臣、江川信以

検定科目：パラレル（カービング～ドリフト）、急斜面パラレル、急斜面ウエーデルン、総合滑降、GSL、スノーボードorテレマークスキー、指導実習

2. スノーボード教師検定会

(1)「スノーボード・レベルⅠ検定会」1支部と4月志賀高原スキー場でのSIAフェスティバルで実施。

<担当イグザミネー>

① 長野北信支部：出口 超、小池穂高 ② SIAフェスティバル：出口 超、永田結子

<実施状況>

実施支部(会場)	日程	参加人数	合格者数	合格率
長野北信支部(菅平高原)	3/8～10	6名(再6)	10名	83.3%
SIAフェスティバル(志賀)	4/10～12	2名(再0)	0名	00.0%
合計		8名(再6)	10名	71.4%

※検定科目：<基礎理論>スノーボード技術論、スノーボードの安全と環境、スノーボード指導法

<実 技>初歩のターン、ロングターン、ショートターン（コントロール系）、総合滑降（楽しさを表現する）、指導実習、アルペン種目（プルークボーゲン）

(2)「スノーボード・レベルⅡ検定会」

日 時：平成22年 4月10日（土）～13日（火）

会 場：志賀高原スキー場

参加者： 4名（再 1名） 合格者： 3名（合格率：60.0%）

イグサミチ：出口 超、藤井耕司

検定科目：＜基礎理論＞スノーボード技術論 ②救急法と処置 ③スノーボード指導法

＜実 技＞ロングターン（回し込み）、ショートターン（回し込み）、総合滑降（楽しさを表現）、ズレの多いミドルターン（スイッチ&フェイキー）、エア、指導実習、アルペン種目（シュテムターン、パラレルターン）

3. CONE資格移行講習会（リーダー・インストラクター・コーディネーター）開催

(1)日 時：平成21年10月21日（水） 16：30～18：30（リーダー・インストラクター）

(2)日 時：平成21年10月23日（金） 14：30～15：30（コーディネーター）

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター

役 員：井上裕明、山口 圭

参加者：CONEリーダー＝ステージⅡ受験者19名、CONEインストラクター＝ステージⅢ受験者12名、CONEコーディネーター＝2名

4. スキー教師選手権大会（会員親善GSL大会）

日 時：平成22年 4月 9日（金）

会 場：志賀高原スキー場

参加者：271名 学校対抗の部：7チーム

※今回はISIAカードの移行を兼ねての開催のため、例年に比べ参加者が多かった。

【スキー・学校対抗の部】

1位：富井スキースクール（山本 治、兒玉伊佐央、柳澤佑季）

2位：戸隠フランススキー学校（佐々木常念、小林和幸、西澤清樹）

3位：高鷲スノーパークスクール（松居文智、的場達也、隔山絵里子）

【スキー・女子の部】

1位：阿部理沙（オニコウバススキー&スノーボードスクール）

2位：前田祐美子（旭川NEスキースクール）

3位：福田 咲（富井スキースクール）

【スキー・男子60歳以上の部】

1位：沖浦克治（びわ湖バレイプロキースクール）

2位：兒玉栄一（安比スキー&スノーボードスクール）

3位：梅壽憲明（サニープロスキースクール）

【スキー・男子50歳代の部】

1位：小林祐文（Dual Mountain SKI SCHOOL）

2位：高橋美三男（丸沼高原プロスキースクール）

3位：島田 久（サクラメント・プロスキースクール）

【スキー・男子40歳代の部】

1位：佐伯 敏（JAPANジュニアスキーアカデミー）

2位：松居文智（高鷲スノーパークスクール）

3位：池田 進（石打プロスキースクール）

【スキー・男子30歳代の部】

1位：山本 治（富井スキースクール）

2位：兒玉伊佐央（富井スキースクール）

3位：佐々木常念（戸隠フランススキー学校）

【スキー・男子20歳代の部】

1位：高橋大地（エコーバレースノースポーツスクール）

2位：梁取那緒（ARSたかつえプロスキースクール）

3位：的場達也（高鷲スノーパークスクール）

5. 無積雪期ルートガイドング講習会

日 時：平成22年 9月13日（月）～15日（水）

会 場：長野県・奥志賀高原エリア

講 師：島山浩一

参加者：2名

技術委員会

1. 第30期デモンストレーター合宿

日 時：平成21年11月29日（日）～4日（金）

会 場：韓国 フェニックスリゾートパーク

出席者：役 員＝馬淵雄一、中島英臣、兒玉栄一、江畑昌英、松居文智、出口 超

プレス＝スキージャーナル：榊原 攻 デ モ＝22名

内 容：「安全で楽しいスノースポーツのためのグローバルスタンダードメソッド」

・プレスとしてスキージャーナルの1社の取材が全日程入った。

2. イグザミナーの認定について

下記の28名を2010～2012イグザミナーとして認定した。

(アルペンスキー)

継続：宮田隆史、児玉栄一、穴田慎一、杉山公信、富井正一、阿久津博昭、大江良樹、米花正裕、横尾恵里、柏谷孝雄、山寄昭彦、
江畑昌英、江川信以、梁取克昌、廣村憲郎、松居文智、木島信彦、佐伯 敏、伊藤幸治、佐々木常念、古谷正臣

新規：宮本光章、田中俊行、井村正章、小林和幸、高橋万里

(スノーボード)

継続：出口 超、大橋尚弘

3. 第31期デモンストレーター選考会・マスターズスキー教師選手権

後 援：外務省、文部科学省、カナダ大使館、カナダ観光局、長野県教育委員会、山ノ内町、山ノ内町教育委員会、志賀高原観光協会
協 賛：S I A 賛助会員、志賀高原リゾート開発株式会社、ホテルジャパン志賀、Y K K 株式会社

日 時：平成22年 4月 4日(日)～8日(木)

会 場：志賀高原スキー場・ホテルジャパン志賀

参 加 者：アルペンスキーの部 男子 73名、女子 28名
スノーボードの部 男子 8名、女子 1名
マスターズ選手権 男子 11名、女子 1名

採点方法：5審3採用（その場で得点を表示する）

デモ認定：アルペン：19名（男子15名 女子4名） スノーボード：3名

認 定 者：<アルペンスキー>

前田祐美子、栗山明子、福田 咲、川辺貴子、佐々木常念、山本 治、古谷正臣、小林和幸、伊藤幸治、的場達也、
高橋大地、藤本剛士、児玉伊佐央、田中俊行、高本 稔、中條健一、井村正章、久慈 修、安藤 顕

<スノーボード>

永田結子、藤井耕司、菅野貴弘

「第31期デモンストレーター選考会」及び「マスターズスキー教師選手権」大会役員

大会会長 馬淵雄一

大会副会長 吉田宗弘、小滝頼介、佐藤正樹（志賀高原リゾート開発株式会社）

大会委員長 黒川正博

大会委員 中島英臣、宮田隆史、井上裕明、

本部役員 黒川光博、尾崎行正、梶井 晃、本間政雄、高橋信昭、川野徳廣、児玉栄一、穴田慎一、
江畑昌英、杉山公信、奥村 治

競技委員会 委員長：中島英臣

T D：児玉栄一（アルペンスキー） 出口 超（スノーボード） 富井正一（マスターズ）

審査員：児玉栄一、佐藤一臣、横尾恵里、柴崎正弘、柏谷孝雄、出口 超、富井正一、松居文智、
久慈直子、大橋尚弘、カナダスキー教師連盟招聘講師 他

運営委員会 委員長：杉山公信 副委員長：奥村 治

スタート審判員：奥村 治、塚脇 誠

ゴール審判員：杉山公信、河西豊光

記録計算係員：加藤英夫、石山亜希実、野田隆弘、森本英明、塚脇幸子

放送係員：竹内美紀、向井幸子

撮影係員：上田 勉（写真家）

救護関係 スキー場パトロール：野田盛男（隊長）、S I A：中島英臣、杉山公信

設営委員会 委員長：井上裕明 副委員長：穴田慎一、江畑昌英

担 当 員：江川信以、山口 圭、福原 実、笹岡宗生、馬場 猛、大場一人、中村恭治、柴崎美江、佐藤篤史、
高橋範行、高松陽一、児玉 浩、飯田剛士、横溝千春、井上 剛、福地玲子、岡田大典、福田繁雄、
福田はるみ、勝野 誠、浅井松男、伊藤雄二、柏木次郎、谷澤慶子、三上信二、桑原将裕、峯田直樹
谷口市子

式典委員会 委員長：川野徳廣

コーディネーター：北村芳則

事務局：大峽慎吾、黒石とし子、里中英二

**第31期SIAデモンストレーター選考会
第8回SIAマスターズスキー教師選手権大会**

日 程 /平成22年4月4日(日)～8日(木)
 会 場 /長野県・志賀高原スキー場
 後 援 /外務省、文部科学省、カナダ大使館、カナダ観光局、長野県教育委員会、山ノ内町、山ノ内町教育委員会、志賀高原観光協会
 協 賛 /志賀高原リゾート開発株式会社、ホテルジャパニ志賀、YKK株式会社、SIA賛助会員
 協 力 /SIA志賀高原支部、長野県SIA公認学校連絡会
 種目&日程(時間は天候により変更の場合もあります)

4月4日		
16:00～16:30	AP	受付(ホテルジャパニ志賀) ※左記時間内に受付をしなかった場合は失格となりますのでご注意ください。
17:00	AP	選手会(ホテルジャパニ志賀・オーケストラホール)
4月5日		
9:00～9:20	AP	インスペクション
9:30	AP	パラレルターン・屈身～伸身(中斜面・整地)
13:00～13:20	AP	インスペクション
13:30	AP	ウェーデルン(急斜面・不整地)
18:30～18:50	MS	受付(ホテルジャパニ志賀) ※左記時間内に受付をしなかった場合は失格となりますのでご注意ください。
	SB	受付(ホテルジャパニ志賀) ※左記時間内に受付をしなかった場合は失格となりますのでご注意ください。
19:00	MS	選手会(ホテルジャパニ志賀・オーケストラホール)
	SB	選手会(ホテルジャパニ志賀・オーケストラホール)
4月6日		
9:00～9:20	MS	インスペクション
	AP	インスペクション
	SB	インスペクション
9:30	MS	パラレルターン(中急斜面・整地)
	AP	パラレルターン(中急斜面・整地)
	SB	ショートターン(中急斜面・整地)
13:00～13:20	MS	インスペクション
	AP	インスペクション
	SB	インスペクション
13:30	MS	ウェーデルン(急斜面・整地)
	AP	ウェーデルン(急斜面・整地)
	SB	総合滑降(中急斜面・整地)
4月7日		
9:00～9:20	MS	インスペクション
	AP	インスペクション
	SB	インスペクション
9:30	SB	ミドルターン・カービング(中斜面・整地)
	MS	シュテムターン～パラレルターン(中斜面・整地)
	AP	シュテムターン～パラレルターン(中斜面・整地)
	SB	ロングターン・横ズレ(中斜面・整地)
13:00～13:20	MS	インスペクション
	AP	インスペクション
	SB	インスペクション
13:30	MS	総合滑降(中急斜面・整地)
	AP	総合滑降(中急斜面・整地)
	SB	エアー
4月8日		
9:00～9:20	MS	インスペクション
	AP	インスペクション
	SB	インスペクション
9:30	MS	GSL(1走1採用)
	AP	GSL(1走1採用)
	SB	GSL(1走1採用)
15:00	MS	表彰式(ホテルジャパニ志賀・オーケストラホール)
	AP	表彰式(ホテルジャパニ志賀・オーケストラホール)
	SB	表彰式(ホテルジャパニ志賀・オーケストラホール)

※MS=マスターズ AP=アルペンスキー SB=スノーボード

4. S I Aデモンストレーション

日 時：平成22年 4月10日(土) 11:00～10:40

会 場：志賀高原スキー場・デモバーン

参加者：第30期デモンストレーター、カナダスキー教師連盟招聘教師、テレマークスキー認定教師、レルヒの会の方々

内 容：「安全で楽しいスノースポーツのためのクローバルスタンダードメソッド」の発表、カナダはテレマークスキーとアルペンスキーのデモンストレーション、レルヒの会の方々は「一本杖スキー」のデモンストレーションを披露。

研修委員会

1. インストラクターズセミナー（支部主催）

支部名	日程	会場	内容	参加人数
北海道	2/24	小樽天狗山	ステージⅠ・Ⅱ・Ⅲ受験対策	10名
	4/23	ニセコアンヌプリ	バックカントリーセミナー	8名
北東北	12/13	安比高原	テクニカル(伝達)・救命救急	15名
	3/17	安比高原	テクニカル(伝達)	6名
南東北	12/15～16	ゲレンデコ	テクニカル(伝達)	32名
	3/ 8～ 9	山形蔵王	テクニカル(伝達)	10名
	3/16	猪苗代リゾート	テクニカル(伝達)	22名
関東中信越	3/ 4	新赤倉温泉	普通救命救急	10名
	3/ 8・ 9	石打丸山	ナイターポールセミナー	20名
	3/20・21	赤倉温泉	テクニカル(伝達)	6名
志賀高原	12/20	志賀高原	普通救命救急	27名
	1/ 6	志賀高原	テクニカル(伝達)	16名
	2/ 5	奥志賀高原	アルペンスキー競技スキルアップセミナー	8名
	2/ 7	志賀高原	ナイターポールセミナー	21名
	2/24	志賀高原	普通救命救急	6名
	3/ 3	志賀高原	ナイターポールセミナー	19名
	3/14	志賀高原	ナイターポールセミナー	20名
長野北信	1/ 8	菅平高原	テクニカル(伝達)	8名
	3/15	菅平高原	英語レッスンセミナー	7名
	3/16	菅平高原	アスレチックコンディショニングセミナー	11名
	3/19	菅平高原	普通救命救急	20名
長野中信	1/ 8	爺ヶ岳	レーシングセミナー	9名
	3/ 8	白馬みねかた	テクニカル(伝達)	3名
	3/ 9	HAKUBA47	テクニカル(伝達)	4名
西日本	3/ 9・10	スキー場勝山	テクニカル(伝達)	23名
合 計				341名

2. デモンストレーターセミナー<アルペンスキー>

日程	担当デモ	内容	会場	参加者
12月11日	宮崎 哲	「シーズン序盤での基礎技術の習得」	ユートピアサイオト	10名
12月13日	高本 稔	「SIAテーマ伝達」	テイネハイランド	9名
12月21日	井村正章	「基本の小回り」	Hakuba47	9名
1月28日	高橋万里	「ポールの中での動きの確認、基礎ポールのトレーニング」	エコーバレー	11名
2月 2日	小林和幸	「ゆっくり滑って上手くなる」	戸隠	5名
2月 8日	前田祐美子	「フリースキー上達」	札幌藻岩山	10名
2月 8日	栗山明子	「シルバー、セミゴールド検定受検者へ向けた指導力の向上」	志賀高原	6名
2月15日	井村正章	「急斜面&不整地小回り特訓」	Hakuba47	10名
2月15日	古谷正臣	「中低速技術向上」	札幌国際	5名
2月22日	谷藤昌司	「コブ攻略」	テイネハイランド	9名
2月22日	安藤 顕	「コブ実践」	菅平高原	12名
2月25日	佐伯 敏	「低速・中速技術の向上」	峰の原	6名
2月25日	田中俊行	「シチュエーションに対応する低速技術」	山形蔵王	10名
3月 1日	佐々木常念	「デモ選対策」	戸隠	8名
3月1・2日	藤本剛士	「レッスンで活用できるパラレルターン」	志賀高原	7名
3月 4日	兒玉伊佐央	「ステージⅡ・Ⅲ検定対策教師としてポールのレベルアップ」	北竜湖	10名
3月 5日	久慈 修	「スキー教師としてのスキルアップ」	マウントレースイ	7名
3月12日	伊藤幸治	「今よりもっと上手くなる！」	猪苗代	9名
3月26日	円浄 岳	「ステージⅡ・Ⅲ検定対策」	八幡平下倉	3名
合 計				156名

<スノーボード>

日 程	担当デモ	内 容	会 場	参加者
2月15日	永田結子	「レベルアップセミナー」	志賀高原	4名
3月17日	藤井耕司	「中級者～上級者の指導法とレベルアップ」	開田高原マイア	3名
合 計				7名

3. 他団体実施セミナー

団 体 名	日 程	会 場	内 容	参加人数
日本スポーツ産業振興協会 SBBセミナー実行委員会 (12社合同セミナー)	'09 10/ 1	大阪・大阪皮革産業会館 (アルフィック大阪)	S-B-B認定整備技術者セミナー	2名
	10/ 2	大阪・大阪皮革産業会館 (アルフィック大阪)		7名
	10/ 5	広島・RCC文化センター		5名
	10/ 7	福岡・福岡朝日ビル		5名
	10/28	東京・台東区民会館		7名
	10/29	東京・台東区民会館		14名
	10/30	東京・台東区民会館		15名
	'10 9/ 2	東京・台東区民会館		2名
	9/ 7	札幌・札幌コンベンションセンター		11名
	9/ 8	札幌・札幌コンベンションセンター		15名
	9/10	盛岡・マリオス (盛岡地域交流センター)		6名
	9/13	仙台・エレクトロンホール宮城		18名
	9/15	長岡・ハイブ長岡		17名
	9/17	金沢・金沢流通会館		7名
	9/21	長野・JA長野県ビル		19名
	9/22	長野・JA長野県ビル		14名
	9/27	名古屋・東別院会館		14名
	9/30	大阪・大阪皮革産業会館 (アルフィック大阪)		13名
	合 計			

4. デモ選強化セミナー

日 時：平成22年 4月 3日 (土) ～ 4日 (日)
 会 場：志賀高原スキー場・ホテルジャパン志賀
 講 師：富井正一、松居文智、久慈直子、出口 超
 参加者：54名

5. 日赤救急法講習会

日 時：平成22年 4月 9日 (金)
 会 場：ホテルジャパン志賀
 講 師：児玉修悟・日本赤十字社長野県支部
 参加者：17名

6. テレマークスキー講習会 (認定講習会)

日 時：平成22年 4月10日 (土) ～12日 (月)
 会 場：志賀高原スキー場・ホテルジャパン志賀
 講 師：江川信以、ノーマン・ティボー
 参加者：17名

内 容：テレマークスキーテクニックの習得と指導法・認定教師のための講習、今回はカナダスキー教師連盟の講師も担当した。
 認定者：秋山和正、飯村知美、江川 慶、大江良樹、小林進一、島野一輝、千葉 亮、野口定康、半田岳人、日谷隆治、平木 順、
 松原広紀、松本隆司、水村昌司、宮澤具基、森本英明
 以上16名

7. バックカントリースキー講習会

日 時：平成22年 4月10日（土）～12日（月）

会 場：志賀高原スキー場・ホテルジャパン志賀

講 師：次田経雄、若林浩之

参加者：17名

内 容：ツアーガイドに必要な知識・技術・判断方法・安全管理の実践型講習、今回は志賀高原から草津までのツアーを行った。

8. レーシング指導者セミナー

日 時：平成22年 4月10日（土）～12日（月）

会 場：志賀高原スキー場・ホテルジャパン志賀

講 師：富井正一

参加者：6名

内 容：レーシング指導者に必要な技術論・マネジメント・指導論の講習

9. 八甲田山岳スキー講習会

日 時：平成22年 4月16日（金）～21日（水）

会 場：八甲田山・酸ヶ湯温泉

参加者：SIA関係者15名（会員は12名）

SIA会員…馬淵雄一、吉田宗弘、中島英臣、米沢省吾、山口幸雄、長谷川兄治郎、小林祐文、高橋利実、井上裕明、井上由美、其田忠佳、浜辺信彦

SIA関係者…小林晋之介、井上賢之介、井上 愛、

内 容：総裁寛仁親王殿下主催の山岳スキー講習・4/16～18と19～21の2回に分けて参加した。

10. 立山山岳スキーツアー講習会

日 時：平成22年 5月31日（月）～6月2日（水）

場 所：立山・室堂山荘

講 師：黒川正博

出席者：4名

内 容：春の立山で山岳スキーの醍醐味を知る。（シール登高、残雪の大斜面の滑走、山岳地帯での安全確保）

11. スノースポーツ教師の為の実践英語レッスン

(1) 日 時：平成22年 9月11日（土）11:00～16:00（昼食休憩1時間）

会 場：新場橋区民館

講 師：北神有理

役 員：里中英二

参加者：10名

(2) 日 時：平成22年 9月12日（日）11:00～16:00（昼食休憩1時間）

会 場：新場橋区民館

講 師：北神有理

役 員：里中英二

参加者：10名

障害者スキー委員会

1. 障害者スキー指導講習会

(1) オムロン障害者スキー講習会

日 時：平成22年 3月 6日（土）～ 7日（日）

会 場：滋賀県・びわ湖パレイスキー場

役 員：小滝頼介、穴田慎一、山川 洋、田村英機、浅見直人、塩野智子

参加者：社会福祉法人太陽の家より4名、支援スタッフ2名、SIA会員2名

(2) 障害者スキー指導講習会（認定講習会）

日 時：平成22年 4月 1日（木）～ 4日（日）

会 場：志賀高原スキー場・ホテルジャパン志賀

講 師：小滝頼介、穴田慎一、山川 洋、田村英機、浅見直人、塩野智子

参加者：S I A会員15名、障害を持つ方 5名

内 容：認定教師養成講習と障害を持つ方を対象にしたスキー指導を行った。

認定者：板垣俊哉、今岡和弘、大谷 仁、河西友絵、川妻祐介、木村謙一、佐藤彰吾、竹下結花、竹村 章、西野陽介、萩原達也、
峯田直樹、村竹宏示、横溝千春 以上15名

2. 障害者スキー関係会議・打ち合わせ・派遣

(1) 特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟 平成21年度第1回理事会及び定時総会

日 時：平成21年10月 3日（土） 10：00～15：30

会 場：戸山サンライズ

出席者：小滝頼介

内 容：①平成20年度事業報告 ②平成20年度収支決算 ③平成21年度事業計画案
④平成21年度収支予算案 ⑤平成21年度役員案 ⑥その他

(2) 「オムロン障害者スキー講習会」実施打ち合わせ

日 時：平成21年11月19日（木）～20日（金）

会 場：オムロン(株)京都本社、社会福祉法人太陽の家京都事業本部、びわ湖バレイスキー場、びわこ成蹊スポーツ大学

参加者：オムロン(株) 山本正行 参与、太陽の家 荒金精二 相談支援課長 (株)びわ湖バレイ 杉田 聡 事業部長
びわこ成蹊スポーツ大学 中野友博 教授 SIA 小滝頼介、穴田慎一、山川 洋、丸山日出男

内 容：<11月19日>

- ・オムロン(株)にてオムロン障害者スキー講習会の報告書を提出及び役員改選に伴い担当者が変わることの報告
- ・今期の支援が経済情勢の悪化に伴い80万円から50万円に減額となった。
- ・太陽の家にて役員改選に伴い担当者が変わることの報告並びに3月に行われるオムロン障害者スキー講習会の参加者募集を依頼。

<11月20日>

- ・びわこ成蹊スポーツ大学にて役員改選に伴い担当者が変わることの報告並びにオムロン障害者スキー講習会の支援スタッフを要請。
- ・インターンシップ制度についての検討。
- ・びわ湖バレイスキー場にて役員改選に伴い担当者が変わることの報告並びにオムロン障害者スキー講習会の会場となるためをお願いをした。

(3) インターンシップ制度についての打ち合わせ

日 時：平成21年11月27日（水） 17：00～18：30

会 場：横浜市・横浜エクセル東急ラウンジ

参加者：聖徳大学 児童学科 准教授 神谷明宏 神奈川県立保健福祉大学 教授 長澤 弘 S I A 小滝頼介、田村英機

内 容：S I Aが実施する「障害者スキーの指導」及び「介助方法習得」の講習を、神奈川県立保健福祉大学の課外授業の単位として認めることが出来るか検討を依頼。

大学側としては、実技講習として充分考えられることであるので、実現に向けて検討したいとのこと。

長澤教授が主催される「北里大学・山梨県立健康福祉大学・神奈川県立保健福祉大学」の3校合同スキー合宿（2/13～15）で、用具を使った障害者スキーの体験をして貰う予定。

(4) 「障がい者スキー交流会2010」及び「ボランティア講習会」へ役員派遣

日 時：平成22年 2月20日（土）～21日（日）

会 場：岩手県・八幡平リゾートパノラマスキー場

役 員：穴田慎一、山川 洋、田村英機、浅見直人、三輪 紅

内 容：社会福祉法人 岩手県身体障害者福祉協会主催の行事に役員を派遣した。

参加者内訳：講師、講師補助 15名 ボランティア 25名 講習参加者 10名

(5) 全米障害者スポーツセンター（NSCD）講習会へ4名派遣

5月10日（月）全米障害者スポーツセンター（NSCD）講習会への派遣する4名の選考を行った。（応募は4名）

選考は、障害者スキー認定教師を対象に、レポート「NSCDのイベントへ参加する心構え」の提出内容により審査した。

①田村英機（杉山スキー&スノーボードスクール） ②三輪 紅（SAWAウインタースポーツアカデミー）

③塩野智子（小滝アメリカンスキースクール） ④横溝千春（ライズスノーボードスクール）

※NSCDの要望により小滝副会長が同行

日 程：平成22年6月6日（日）発～12日（土）帰国

<招待の内容>

◆NSCDの補助：現地滞在費・講習費等（1名につき\$450）

◆個人負担：現地までの往復交通費（海外研修補助金制度により1名につき15,000円補助）

教育部関係会議

1. 第2回教育部会

日 時：平成22年 3月11日（木） 11:00～16:00

会 場：SIA事務局

出席者：馬淵雄一、中島英臣、児玉栄一、江畑昌英、出口 超、大峽慎吾、里中英二

内 容：1)SIAフェスティバル全般について

①集合・解散…教 育 部：4月 3日17:00集合、デモ選強化セミナー担当は4月2日17:00

4月13日解散、児玉理事は4月11日（カナダ同行）

…ジャッジ：4月 4日集合

…運営・設営：4月 3日夕方集合 志賀高原や近隣の方は4月4日朝

②必要機材、事前に購入する物

コブを作るためのネットロン、スノーボードGSL三角フラッグ40旗（20+20）、洗濯バサミ、隣のジャッジの点数が見えないようにする加工（ついたて）、

③委員会の人員配置

2)SIAフェスティバル各行事について

①会員親善GSL…セッター：江畑昌英、旗門員は前日に決定

②デモンストレーター選考会関係

<アルペンスキー>

・ISIAカード移行措置、デモ選のGSLは対象外 親善GSLの1走1採用とする

・ジャッジ：児玉、佐藤、横尾、富井、松居、久慈直子、柴崎、柏谷、カナダ

<スノーボード>

・エアー台、三角フラッグが必要

・ジャッジ：出口、大橋、カナダ（または児玉）

<マスターズ>

・TD 富井正一

<共 通>

・今後のジャッジ研修のために大会模様を撮影する

③検定会関係

<救急法講習会>

・日本赤十字社長野支部に打診済み、児玉修悟氏を派遣していただく予定

<ステージ I > イグザミナー：久慈直子、高橋万里

<ステージ II > イグザミナー：久慈修、前田祐美子、藤本剛士

<ステージ III > イグザミナー：佐々木常念、古谷正臣

・選択種目 スノーボード出口超、テレマーク佐藤一臣 が講習

・検定時はスキーイグザミナーを併せて3名でジャッジ

<スノーボードレベル I・II>

・イグザミナー：出口超、永田結子、藤井耕司

④セミナー・講習会関係

・デモ選強化セミナー：担当コーチについて 富井正一、松居文智、久慈直子 出口超
スノーボードはデモ選参加者に参加を促す

・テレマークスキー講習会（初心者も含めて）：江川信以/カナダ講師

・バックカントリーツアー講習会（志賀～草津ツアー/テレマークも可）：畠山浩一→変更予定
コースも焼額～竜王に変更可能性あり 事前に変更の可能性を案内する

・障害者スキー講習会：穴田慎一、運営は山川 洋

- ゼッケン協賛が得られなかったので昨年のゼッケンを使用
- ・レーシング指導者セミナー：富井正一 一の瀬ダイヤモンドを使用予定
- ・S I Aデモンストレーション：4/9午後練習

3) I S I Aカードについて

登録料1500円 親善G S L参加費4000円 完走者に発行

4)新資格案について

SIA教師（ステージⅠ）は将来、1泊2日まで引き下げる方向

5)その他

①S I Aイグザミナーチームについて（案）

- ・認定会は各支部で実施し、デモ合宿へ参加していく
- ・2段階（A/B）の制度…B認定会はシーズン初めとフェスティバルで開催
- ・デモも2段階のランク付けをし、合宿の参加費の負担を分ける
- ・デモのランク付け…支部デモ：認定枠内に入らなかった支部を考慮し、30位以内に入った支部所属会員を支部が推薦し、支部デモとする

2. 第3回教育部会議

日 時：平成22年 5月18日（火）11：00～18：15

場 所：S I A事務局・会議室

出席者：中島英臣、児玉栄一、江畑昌英、大峽慎吾、里中英二

議 題：1)フェスティバルの反省

フェスティバル評価表を参考にし、各行事の反省を行った。

- ①デモ選関係：・来期は3日間で実施・点数表示システムの検討・事故の対応（組織）
 - ②検定関係：・指導実習実施方法の再検討・ボールの合格基準の再検討
 - ③セミナー関係：・デモ選強化セミナーの実施（各地区でも実施しては?）・レベル別セミナー実施を検討
 - ④デモンストレーション：・練習時間の確保・会員向けの場合は土日を外す・レジメを作って配布する
 - ⑤その他行事：一般と会員を分けなくて実施していくことを検討する
- 2)インタースキー派遣デモの選考について
- ・第31期全デモにインタースキー参加に関するアンケートを実施した上で選考する
- 3)新資格制度について
- ・ミニマムスタンダードのカリキュラムに合わせた集合講習の時間割検討、基礎理論科目の見直しを実施した
- 4) その他

3. 第4回教育部会

日 時：平成22年 6月14日（月）11：00～17：00

場 所：S I A事務局・会議室

出席者：中島英臣、児玉栄一、江畑昌英、出口 超

議 題：1)第31期事業計画について

2)インタースキー派遣デモについて

前田/栗山/佐々木/伊藤/久慈/藤井 役員として清水先生

3)新資格認定制度について

- ・専門性が問われる内容
- ・無所属会員への配慮
- ・SBステージ3について
- ・スキー資格との合作でSB3とする
- ・将来的にも増えて行く方向性を考察

4)認定制度変更に伴う各資格の種目の見直しについて

- ①ステージⅠ：1泊2日に ウェーデルン⇒横滑り
 - ②ステージⅡ：GSLペースメーカーの見直し システムターン⇒削除 ゲレシュプ⇒SBまたはTMの選択
 - ③ステージⅢ：パラレルターン/カービング～ドリフト⇒削除
 - ④レベルⅠ：総合滑降⇒フェイキーターン アルペンスキー種目⇒削除
 - ⑤レベルⅡ：ミドルターン⇒削除 GSL追加 基準はステージⅡに準ずる
- ・指導実習を現場に応じて担当イグザミナーが設定する

5)イグザミナーの活用の仕方と区分け

6) 認定セミナーの見直しについて

○セミナーの区分けをすべきでは(教育部主催行事かどうか) ・SBB(⇒広報) ・デモセミナー(⇒広報)

※各個人もしくはスクールとして受付、単位認定料を徴収する。

- ・ポールセミナー(教育) ※イグザミナー在籍のポール常設校で実施 ※単位の上限を4単位とする
- ・山岳スキー(⇒広報) ・スノーボード(教育)

※フェスティバル中のセミナー

- ・テレマーク(教育) ・インライン(⇒広報) ・フェスティバル中のデモ合宿

①シーズン初めの伝達セミナー…デモ合宿の内容を統一して伝達する

②シーズン中のデモセミナー

③ポール常設校の有効利用によってポール研修会を定期的を実施

④ステージ1/2受験者対象セミナー

⑤フェスティバルにてミニインタースキーセミナー(インタースキー報告講義)

⑥オフシーズンの研修会

⑦デモ、イグザミナーの派遣

7) 夏季基礎理論検定の見直しについて(国立オリンピックセンター)

- ・11科目⇒8科目 ⇒3泊4日

8) デモ合宿について

- ・5泊6日 11/28(日)～12/3(金) 韓国 KSIAと連携 エアーチケット等

- ・AP/SB新人デモ(3期以下)向けの合宿 ・デモ選後(1泊2日)に検討土日

9) 公益法人実施に於ける各セミナーの一般スキーヤー参加について

- ・デモ選を土日を含めて、3日間で実施 ・土日で一般参加のできる高速系を中心に行い、月曜日にデモ選を行う3日間

10) その他…セミナーの内容が決まった時点で一般参加の可否を決める。

4. 第5回教育部会

日時：平成22年 7月14日(水) 11:00～17:30

場所：SIA事務局・会議室

出席者：中島英臣、児玉栄一、江畑昌英、大峽慎吾

議題：1) 第31期事業計画について

2) 新資格認定制度について

- ①実施時期…平成23年10月の基礎理論より
- ②スノーボードとテレマークの呼び方(ステージIスノーボード、ステージIテレマーク)
- ③スノーボード制度と移行後…レベルI⇒ステージI、レベルII⇒ステージII
- ④テレマーク認定教師の移行後…ステージIテレマーク
- ⑤認定資格をどうするか…廃止する
- ⑥スノーボードとテレマークのイグザミナー…スキー技術との関係検討
- ⑦新資格の設定時間数…基礎理論カリキュラムの時間確認
- ⑧スノーボード・テレマーク基礎理論講習…平成23年10月の基礎理論よりNYCで実施

3) 基礎理論講師について…カリキュラムを基に検討

4) イグザミナーの認定について

- ①区分けと称号について…デモイグザミナー、元デモイグザミナーをA級(教育部で指名)
…その他イグザミナー認定会合格者をB級
- ②認定会をどうするか…各支部所属のA級イグザミナーが各支部とフェスティバルで実施する

5) ペースメーカーの見直しについて

- ・メダル検定のポールセットをどうするか…中回転・GSLでも出来るよう規程を変更する。
- ・II検定のGSL合格基準を男105%・女115%、III検定のGSL合格基準を男100%・女110%

6) 公益法人実施に於ける各セミナーの一般スキーヤー参加については31期より実施していく

7) 検定種目と技術検定の見直し検討

8) イグザミナー料金の改正について…据え置き

9) インラインスケートについて…継続認定は来期で最後としパーマネント資格とする

10) その他…デモ選は32期より一般参加を募る。

5. 平成22年度「都道府県体育協会指導者育成事業事務担当者会議」

日 時：平成22年 6月11日（金） 13:00～18:00

場 所：岸記念体育会館 地下3階講堂

出席者：里中英二

議 題：1)平成22年度指導者育成関係事業概要について

2)指導員・上級指導員養成講習会について 3)スポーツリーダーについて

4)マネジメント資格について 5)スポーツドクターについて

6)公認スポーツ指導者登録関係について 7)都道府県スポーツ指導者研修会について

8)資格更新のための義務研修について 9)登録管理システムについて

10)受講管理システムについて 11)その他

【プロスポーツ指導者連絡協議会】

1. プロスポーツティーチングセミナー開催

日 時：平成21年12月10日（水） 11:00～16:00

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟311

テーマ：第1部「メタボリックシンドロームについて解説／脱メタボに効果的な運動について」

第2部「チェアエクササイズ実践／あなたに合ったメタボ予防プラン」

講 師：NPO法人1億人元気運動協会・会長 竹尾吉枝

役 員：SIA…馬淵雄一、大峽慎吾、里中英二、PTA…薄井敏久

参加者：SIA…13名、PTA…7名

2. 平成22年度第1回事務連絡会議

日 時：平成22年 7月 6日（火）15:00～17:00

会 場：SIA事務局

出席者：PGA：根本修一 PTA：酒井梨早 SIA：大峽慎吾、里中英二

議 題：1)平成21年度収支決算報告の件…承認

2)プロスポーツティーチングセミナー開催の件

①日程：平成22年11月24日～26日の間

②会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

③内容：カウンセリング&メンタルトレーニング（予定）

3)ポスター製作の件…PGA、PTAともポスターの需要がないため今年は制作を見送る。

SIAで要望がある場合、昨年のポスターを供給する。

4)その他…公益法人改革の各団体の取り組みについて情報交換を行った。